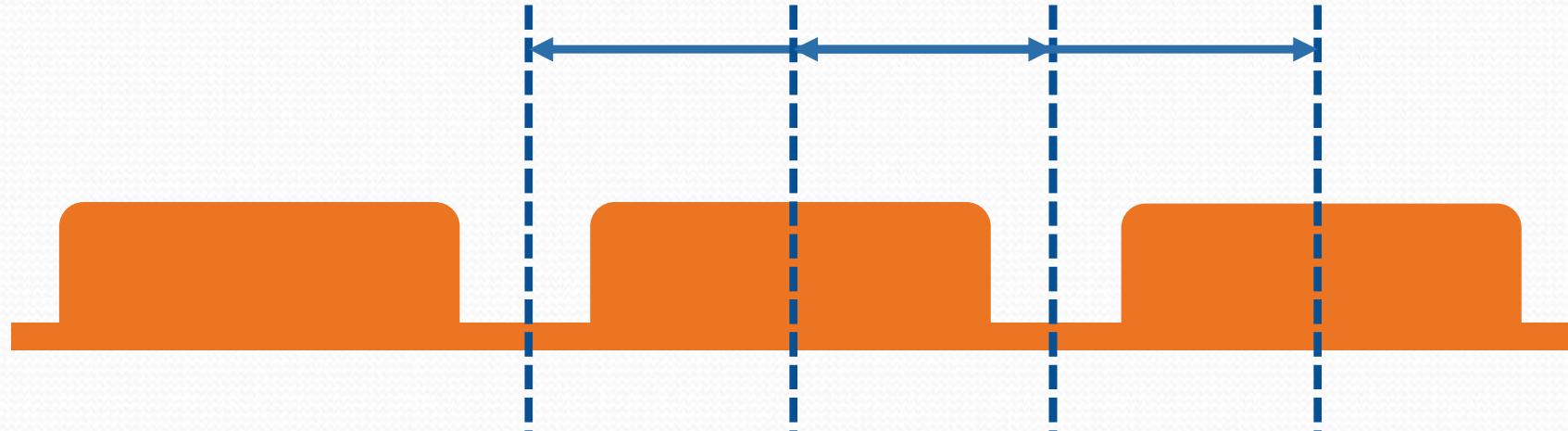


郷土の伝統 加賀野菜を育てよう

金沢市農業センター

はじめに（用語解説）

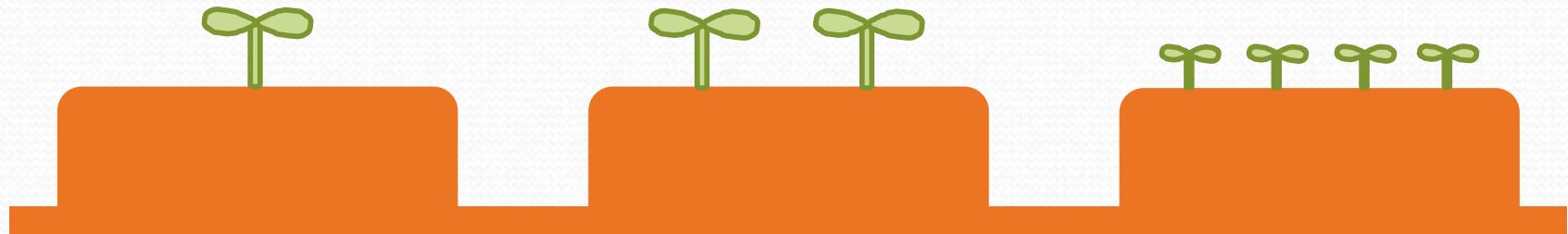
◆ 故幅



- 通路の中心から次の通路の中心まで
を示す長さ
 - ※ 故自体の長さではない
 - ※ 故の中心から次の故の中心を示す場合も

◆ 条

1条植え



2条植え



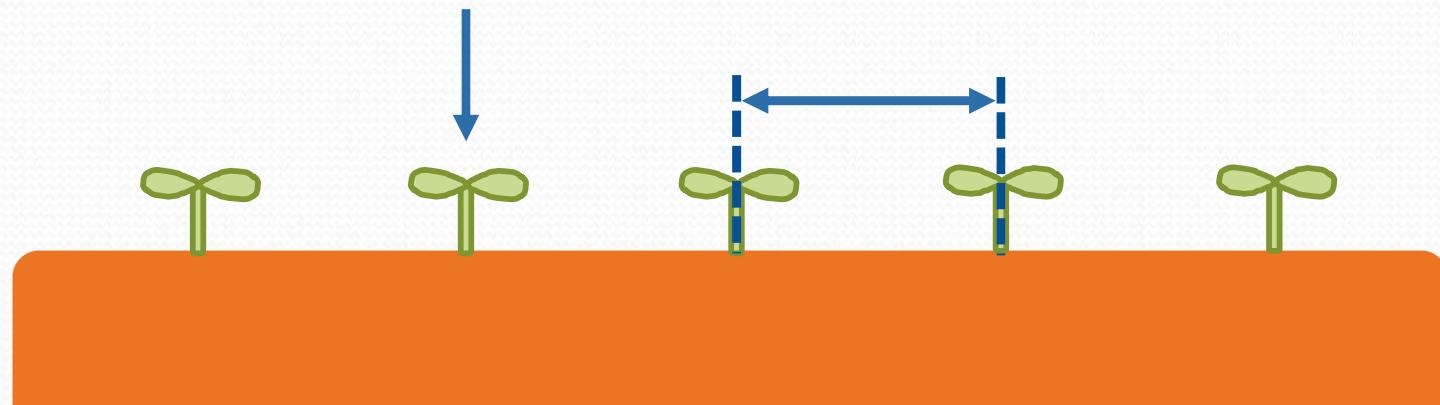
4条植え



- 野菜を植える列のこと。畝に対しても
1列に植えることを1条植えと呼ぶ。



株、株間



- 野菜のことを株と呼び、野菜と野菜の植えつける間隔を株間と呼ぶ。

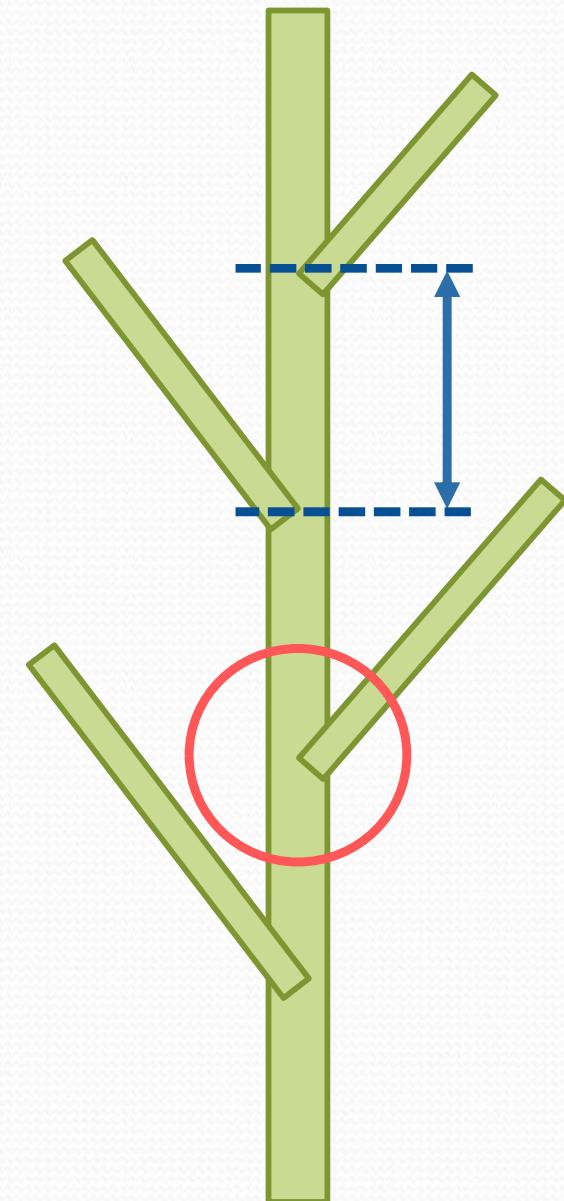


節、節間

- 葉の生えている部分を節、
節と節の間を節間と呼ぶ

※葉を1枚、2枚と数えるよ
うに、1節、2節と数える

※節数に子葉は含まない



「加賀野菜」について

加賀野菜って何？

→昭和20年以前から栽培され、現在も

主に金沢で栽培されている野菜

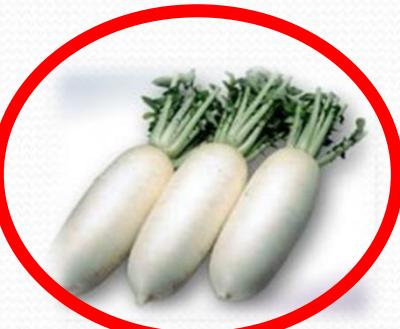


加賀野菜キャラクター
「ベジタン」

金沢市農産物ブランド協会 が
認定しています！

(平成9年から認定、現在15品目)

加賀野菜 認定15品目

さつまいも 	加賀れんこん 	たけのこ 	加賀太きゅうり 	源助だいこん 
金時草 	打木赤皮 甘栗かぼちゃ 	ヘタ紫なす 	せり 	金沢 一本太ねぎ 
加賀つるまめ 	二塚からしな 	赤ずいき 	くわい 	金沢春菊 

さつまいも

(ヒルガオ科 原産地：熱帯アメリカ)



○産地 栗五地区、大野地区、
大徳地区、内灘砂丘

○特徴 皮色は紅色
纖維質が比較的少ない
粉質系で甘さが強い

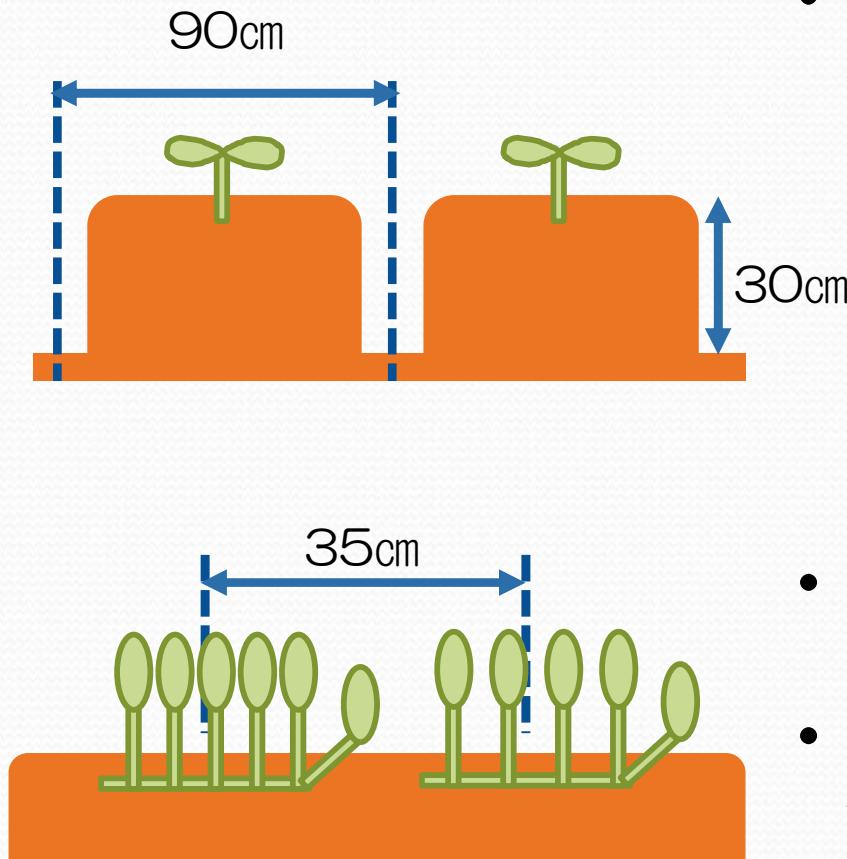
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業					植え付け ◎			収穫 ◎				

1. 生育環境



- 生育適温：16~35°C
肥大適温：20~30°C
- pH : 5.0~6.0

2. 畑の準備



- 植えつけする1週間前に施肥し、
畝立てを行う

施肥例

堆肥	1kg/m ²
化成肥料 (8-8-8)	50~100g/m ²

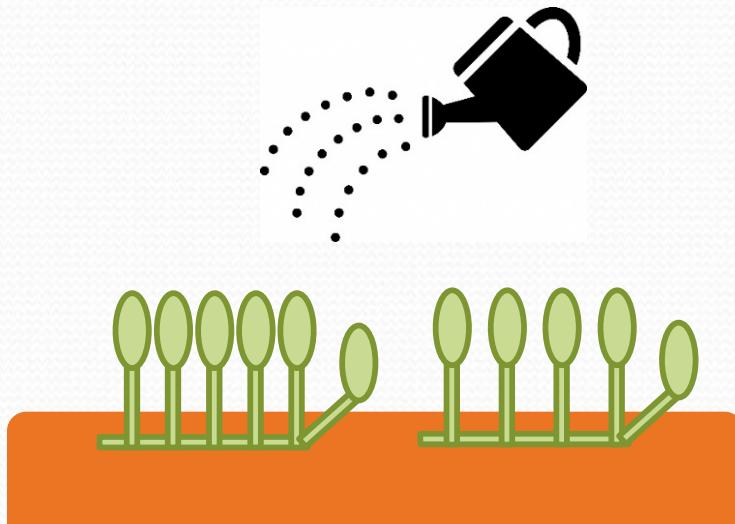
- 畝幅90cm、畝高30cm、株間35cm
- 苗は、4節程度を土に埋め、葉が
地上に出るように植える
※良い苗は、葉が7~8枚、草丈が
25~30cm、重さ20g程度のもの

植え付けの方法



農林水産省HPから引用

3. 水やり、追肥



- 植えつけから苗が活着までは
乾燥に注意
(ただし、やり過ぎにも注意)
- 追肥は基本的に行わない
(つるぼけ防止)

※つるぼけ…茎葉ばかり生育して
いもが十分に育たない

4. 収穫



- ・植えつけ後、120日～150程度で茎葉が黄色くなり始めたら収穫する
※収穫が早いと食味が悪く、遅いと色や形が悪くなる
- ・晴天の日にいもを傷つけないように行う。

源助だいこん

(アブラナ科 原産地：地中海沿岸・中央アジア)



○産地 安原地区、粟五地区、大野地区

○特徴 ずんぐりとした形状
肉質が柔らかいが、
煮崩れしにくい

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業								種まき ○—○	収穫			

1. 生育環境



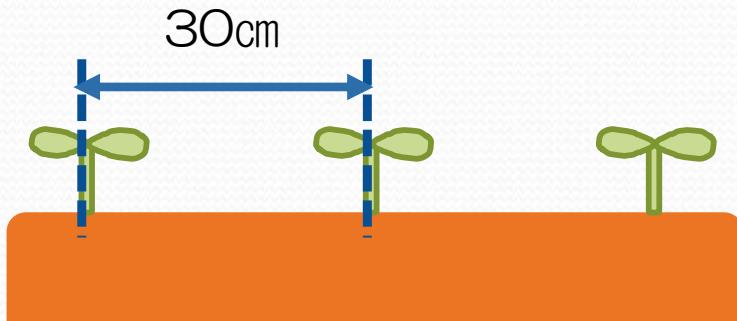
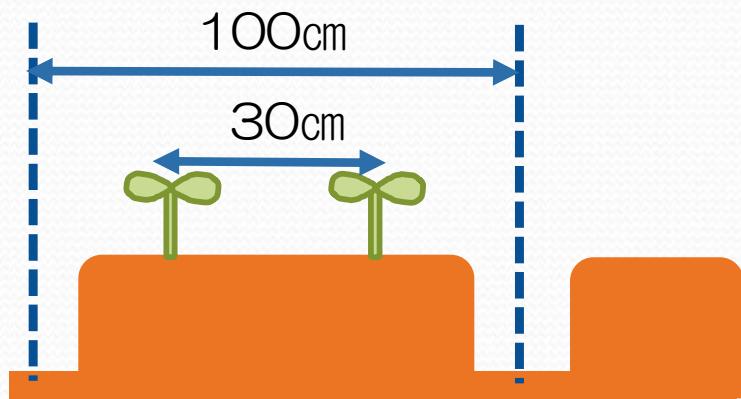
- 発芽適温：15~30°C
生育適温：15~20°C
根部肥大適温： 20°C
- pH：5.5~6.8

2. 畑の準備、種まき

- ・種まきする1週間前に施肥し、深く耕し、土を柔らかくする

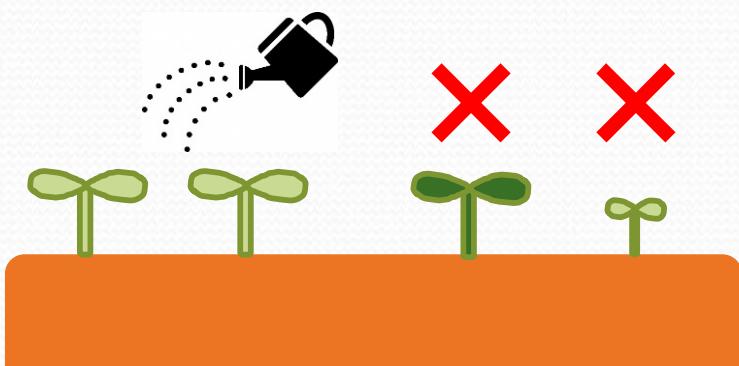
施肥例

堆肥	2kg/m ²
化成肥料 (8-8-8)	100g/m ²



- ・畝幅100cm、条間30cm、株間30cm、2条点播き、1力所2粒播き、覆土は1cm程度
- ・種まき後、寒冷紗を20日間程度被覆

3. 水やり、間引き



- ・水やりは、1回に行う水の量は少なめにし、日中の高温時にはできるだけしない
- ・間引きは、本葉3~4枚時に子葉が正常なものを残す

※異常なもの

…生育の遅いもの
葉及び胚軸の濃い・淡いもの
奇形葉のもの
病虫害のあるもの

4. 追肥

- 追肥は、1回目は条間、2回目以降は通路を行う



(目安)

回	時期	量
1	間引き時	化成肥料5g/m ²
2	種まき後 30日	化成肥料20g/m ²
3	種まき後 40日	化成肥料20g/m ²
4	種まき後 50日	化成肥料20g/m ²

5. 収穫



- ・種まき後60日程度で収穫する
- ・代表的な生理障害とその原因
 - 岐根 …種まき位置に近い場所での施肥、根の先端部が食害、枯死
 - 裂根 …乾燥状態が続いた後の降雨す入り…生育後半の高温、収穫遅れ

金時草 (キク科 原産地：インドネシア)



○産地 花園地区

○特徴 葉の表は濃緑色で、裏は鮮やかな紫色
アントシアニンが豊富
ゆでるとぬめりができる

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業					植え付け ◎—				収穫			

1. 生育環境



- 生育適温：20~25°C
- pH : 6.0~6.5
- 一日の気温差が大きく、
午前中だけ直射日光がさし、
午後は日陰の環境が良い
(葉の裏の赤紫色がきれいに出る)

2. 苗作り



- 親株から挿し穂を調整する
葉を3枚以上残し、長さは10~15cm
程度で切り、葉は半分程度に切る



- セルトレイに土を詰め、散水して土を
湿らせてから挿し穂を挿す
挿し芽後、再度散水する

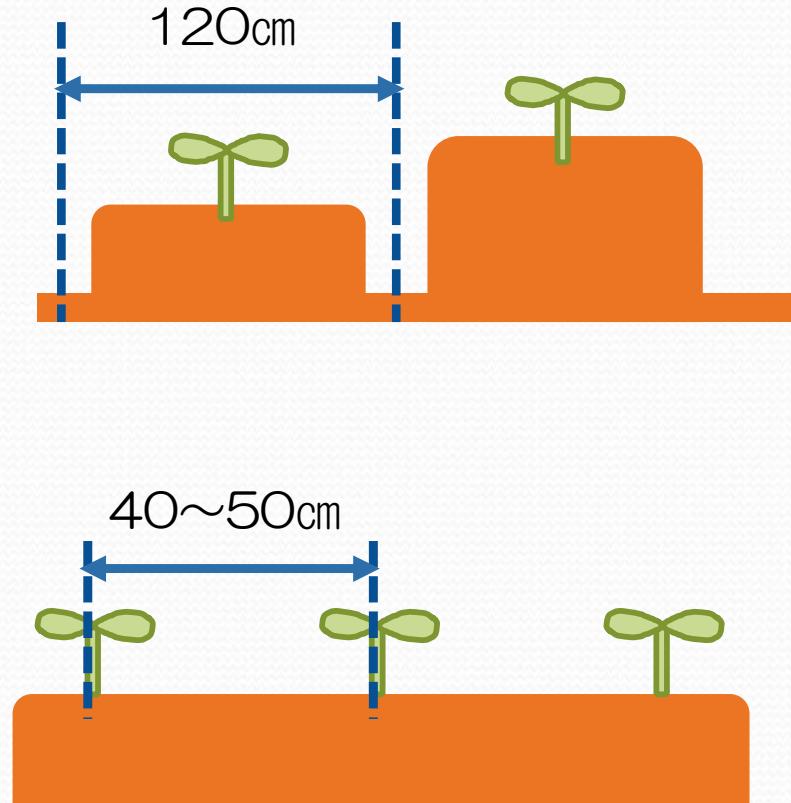
2. 苗作り



- ・トンネル+遮光ネットにより保温と保湿に努める
- ・発根するまで（挿し芽後2週間程度）は遮光し、発根が確認できたら、日光に徐々にならす
- ・挿し芽後4週間程度で苗ができる



3. 畑の準備



- 植えつけする1週間前に施肥

施肥例

堆肥	2kg/m ²
化成肥料 (8-8-8)	200g/m ²
重焼磷	30g/m ²

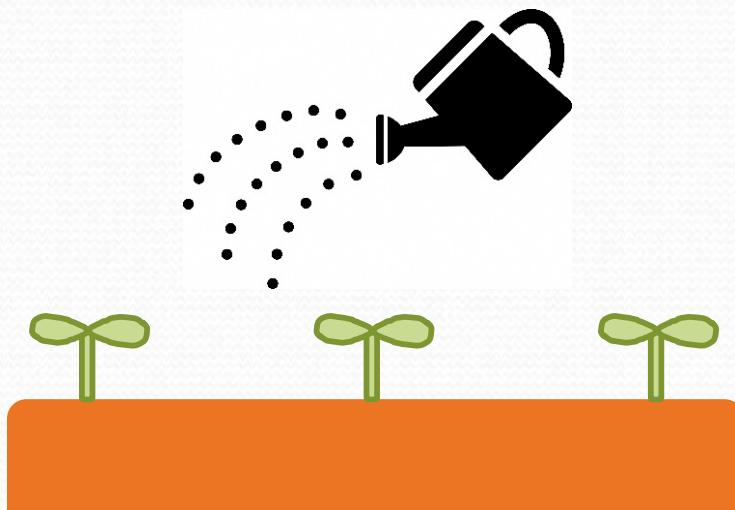
- 畝幅120cm、株間40~50cm、
1条植えにし、深植えしない
※排水の悪いところは高畝にする

4. マルチ、敷きわら



- ・植えつけ後、株の両側から通路を含めて全面にマルチをかける。
 - ・梅雨入り前に株元に敷きわらをする
- ※敷きわらはマルチ表面の温度上昇抑制と保湿のため

5. 追肥、水やり



- ・追肥は、株元に行う

回	時期	量
1	植えつけ後 25日	化成肥料40g/m ²
2~	3~4週間毎	化成肥料40g/m ²

- ・水やりは、土が乾燥したら行う

6. 収穫



- 草丈35~40cm程度になったものから2節残して収穫する（定植後40日程度）
- 混みあってくるので、切り下げる太い枝のものを主枝とする
- 収穫は霜が降りる頃（11月）まで可能である
※雨天時の収穫は、切り口から腐敗するので避ける

収穫が進んだ金時草の株



予備知識

◆ マルチ

- ・プラスチックフィルムやわら等で土壤表面を覆う資材。種類により様々な効果がある。

種類	効果			
	地温確保	保湿	防草	害虫予防
透明	◎	◎	—	—
黒	○	◎	◎	—
白黒	×	◎	◎	○
シルバー	×	◎	○	◎
敷きわら	×	◎	○	—

ご清聴ありがとうございました

